

② 視点3 家庭や地域と連携・協働する

子供たちの授業外での学習を充実させるためには、学校だけではなく家庭の力、地域の力が必要です。学校が目指す子供たちの姿を、家庭や地域に伝えて共有した上で連携を図りましょう。

子供と一緒に

家庭に投げかけてみませんか

子供に寄り添って

◆学習環境・ルールづくり

- ・学習時間、学習スペースを決める
- ・メディアの使い方を決める
- ・家族読書、新聞を読む機会をつくる
- ・家族での語らいの場をつくる

私たちも協力するよ。



子供と一緒に読んだり、話したりすることは、「子供のことば」を豊かにします。

このニュース、今日の社会の授業で話題になったよ。



子供と一緒に決めることが子供の学習や生活の自立につながります。

◆励ましと称賛

- ・学習の様子を見守り、励ましやアドバイスの声をかける
- ・将来の夢や目標について話す時間をつくる

最近、よく頑張ってるね。



子供を見守り、結果だけでなく取組の過程を認める声かけや姿勢が子供の自己肯定感を高めます。

◆PTA活動との連携

- ・研修会で「家庭学習の在り方」を話題にする
- ・学校の取組、子供の取組を知る
- ・定期的な情報交換会の実施
- ・学校保健委員会での取組

私たち保護者も、子供たちのためにできることがあるはずだわ。

地域の「ひと」と一緒に

地域に目を向けてみませんか

地域の「もの(施設)」を活用して

◆「地域未来塾」の実施

- ・地域未来塾とは、中学生等を対象に公民館などで地域の方々が実施する無料の学習支援です。実施する地域が、徐々に広がっています。
- ・地域に住む教員OBや大学生をはじめ、多様な方が講師として中学生等の学習を支援されています。

「地域の子どもを地域で育てる！」
地域の方々による学習支援の輪が広がっています。

佐世保市小佐々地区
「地域未来塾」の様子

大村市における
公民館での
英語学習の様子

◆「地域子ども教室」の活用

- ・地域における豊かな体験や学びを小学生に提供する地域子ども教室
- ・学校における学びを深め広げるような学習支援のメニューを実施している教室もあります。

大学生が中心となって
プログラムを企画し、
ゲームやクイズ、料理
体験など楽しめるよう
工夫しています。



私たちの地区では、地域と学校と家庭が一緒になって子供たちを支えていきたいと考え、コミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働本部を設置しました。地域学校協働活動として「地域未来塾」を実施しています。

英語教育の充実を進める国の動向を踏まえ、小学生が英語に楽しく触れ、異文化を理解する機会を提供する居場所づくりを進めています。

子供の言語環境を充実させるために...

読書活動の推進

「第五次長崎県子ども読書活動推進計画（R6-10）」

基本テーマ：読みたい本がいつも子どものそばにある

- ・主体的な学びが重視される中、読書においても、興味・関心に合わせた読書経験が多いほど、その後の読書量が多い傾向にあるという研究結果や、家庭の経済状況等に関わらず、幼少期に読み聞かせを体験した子供は学力が高い傾向にあるという研究結果が報告されています。
- ・読書は、知識や楽しさを得ることはもとより、子供の教育を支える重要な活動です。本県の子供たちのそばに、いつでも「手に取ってみたい」「開いてみたい」「読んでみたい」と思える本がある環境づくりを社会全体でめざしていきたいと考え、「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」を策定しました。

家庭：「出かけよう！図書館へ」

地域：「つなげよう！広げよう！読書の輪」



学校：「引き出そう！読みたい 知りたい 伝えたい」



詳しくは
こちらを

